

新施設・産学官連携拠点施設の愛称が 「inadani sees」に決定しました

2023年春、民間企業、学術機関、行政が連携して新しい事業を生み出すベースとなる、産学官連携拠点施設が西箕輪の大萱地区に完成するのに合わせて、市民の皆様に施設の愛称の公開投票を実施したところ 396名の方から投票をいただき、愛称が決定しました。

1 愛称

inadani sees (いなだに しーず)

2 愛称に込めた思い

- ・inadani sees では、民間企業、大学などの学術機関、行政が連携して新しい事業を生み出すための起業支援を展開していきます。
- ・多様な視点を持ち寄ることを示唆する、「見ること」の複数形(sees)と新たな事業を芽吹かせていく種(seeds)の意味を音に込めました。
- ・inadani も sees も単語が前後どちらからも読める特徴を活かし、前から読むと、「伊那谷が見る」となり、逆から読むと、「伊那谷を見る」となります。

3 施設竣工予定

令和5年3月末

4 その他

採用された名称に投票いただいた方から抽選で3名の方に伊那市高遠町の手作りソーセージ屋 BUTCHER 様のソーセージ詰め合わせをプレゼントする予定です。

5 添付資料 有 無